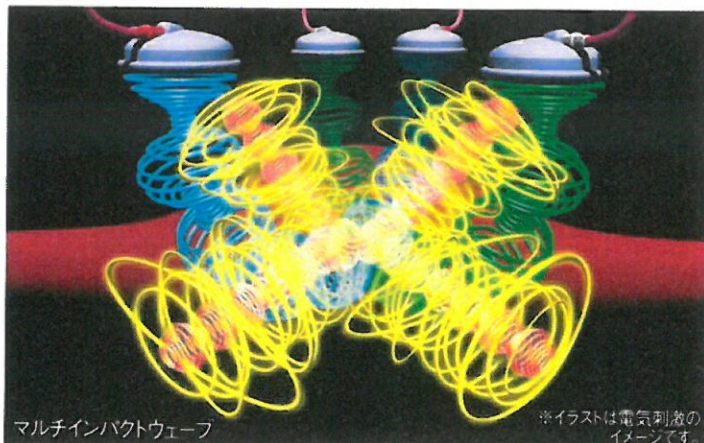


CAモードに新しく採用したマルチインパクトウェーブが新たな疼痛緩和治療の可能性を広げました。

CAモード

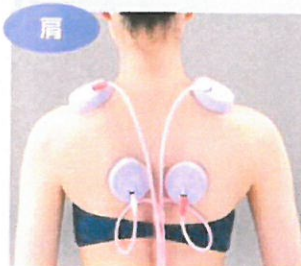
高速スイープを繰り返す、新治療モード「CAモード」

CAモードは「Combined IFC Advanced Mode」の略で、異なる2つの搬送周波数（4極治療の場合）を結合させて生じる治療波形が、さまざまな症状の患者さまに対して、より効果的な治療が可能になるよう考えられた治療モードです。新しく採用した、極低頻度0.1pps～0.9ppsや搬送周波数2,000Hz～20,000Hzの高速スイープが繰り返す波形は表層部から深層部までまんべんなく刺激を与えることができ、治療後も続く残存感は患者さまの満足感につながります。



フラットカップを使用した治療ポイント

4極治療例



6極治療例 (2極治療×3列)



CMモード

交互刺激に適した「CMモード」

CMモードは「Combined Modulation Mode」の略で、2種類のモジュレーション波形が極間交互に刺激します。筋を揉みほぐしながら叩く感覚です。比較的刺激に慣れた患者さまに効果的です。



※イラストは電気刺激のイメージです。

ユーザーモード

治療モードのプログラムが可能な「ユーザーモード」

ユーザーモードはユーザーのニーズに合った治療モードをプログラムし保存することができます。クリオスアンフィニにも搭載し好評を得たCIモードや干渉電流型低周波治療器の原点とも言えるNMモード、NMモードに含まれ筋再教育にも利用されるNMESなどを予めプログラムしておくことにより、すぐに呼び出し、治療を行うことができます。CIモードは、IFCとIFCWを交互に治療することで、干渉電流が深部にまで働きかけ、揉みほぐしながら移動していく感覚です。心地よい刺激が包み込みます。干渉電流型治療のエッセンスを組み込んだモードです。